

は、製品開発・販路開拓、新規創業などの取組を支援する助成金です。

地域資源活用型事業化実現事業

商品
開発

大型産業機械だけじゃない。当社の可能性を発信できました。



活用事例 五嶋金属工業株式会社(室蘭市)
～ 焚火台『コタンコロカムイ』用 五徳とジンギスカン鍋の開発～

「当社は卓越した製缶技術を誇る鋼構造物のプロ集団『どの自信が、就活イベント会場で揺らぎました。』『どのような会社か』誰も尋ねてきてくれない。知名度を上げなければ!』そう痛感し、流行のキャンプ用品に着目、自社製品として「北の伝統アイヌ柄焚火台」を開発しました。

第二弾として、ジンギスカン鍋をイメージした鋳物の「多用鍋」を企画し、専門外の鋳造について、地元支援機関に相談した際に、「試作外注費が対象経費になる」との助言を受けて、本事業の利用に至りました。

【補助金を利用した感想】

自社製品の企画・開発と情報発信は、若手社員の士気高揚や人材確保に良い影響を与えてくれました。全て本業以外の新しい試みでしたので、本事業を活用し資金面などに支援を受けたことは大変助けになりました。

地域資源活用型事業化実現事業(農工商連携)

商品
開発

「お米の消費拡大プロジェクト」をいつも後押ししてもらっています。

活用事例 有限会社澤田米穀店(北斗市)
～ ごはん以外でのお米の消費拡大プロジェクト～

当社は大正4年創業の老舗米穀店。人口減少や食生活の変化によるお米の消費量減少を受け、お米の消費拡大を図るための「ごはん以外でのお米の消費拡大プロジェクト」を進めています。本事業では、その第一弾「ポン菓子ふっくりんこJAPON」の新商品開発及び既存商品改良に伴うパッケージデザインのリニューアルを実施しました。商品シリーズごとに統一感を持たせ、味の違いを分かりやすく表現することで、出展した展示会等で好評を博しました。

【補助金を利用した感想】

商品の顔であるパッケージデザインに、思いのほか費用が掛かってしまうのがネックでした。そんな時に本事業を活用することで資金的な負担を軽減し、納得のいくデザインにすることができました。



中小企業等の定義について

(独)中小企業機関整備機構法第2条第1項(第1号から第4号)

業種	下記のいずれかを満たすこと	
	資本金	従業員
製造業、建設業、運輸業、 その他の業種	3億円以下	300人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
サービス業	5,000万円以下	100人以下
小売業	5,000万円以下	50人以下

※ゴム製造業、ソフトウェア業、情報処理サービス業、旅館業は別途定義があります。

北海道中小企業新応援ファンドについて

北海道中小企業新応援ファンドは、
(独)中小企業基盤整備機構、
北海道、札幌市、金融機関が資金を拠出して
組成したファンドです。

ファンドの運用益を活用して、
道内における新たな産業の創出や
事業化を支援します。



[事務局・問い合わせ先]



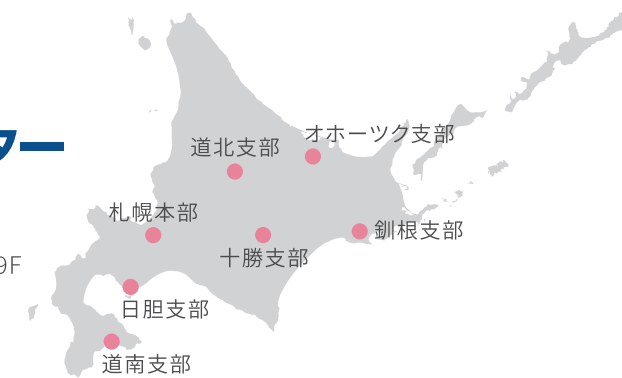
公益財団法人
北海道中小企業総合支援センター

企業振興部(札幌本部)

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目経済センタービル9F

TEL 011-232-2403

E-mail: jyoseishien@hsc.or.jp



道南支部

〒040-0015 函館市梁川町5番10号 プライム函館EAST 8階
TEL 0138-86-6695

十勝支部

〒080-0013 帯広市西3条南9丁目23番地 帯広商工会議所内
TEL 0155-67-4515

釧根支部

〒085-0847 釧路市大町1丁目1番1号 釧路商工会議所内
TEL 0154-64-5563

道北支部

〒078-8801 旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号 旭川リサーチセンター内
TEL 0166-68-2750

日胆支部

〒050-0083 室蘭市東町4丁目28番1号 室蘭テクノセンター内
TEL 0143-47-6410

オホーツク支部

〒090-0023 北見市北3条東1丁目2番地 北見商工会議所内
TEL 0157-31-1123

(公財)北海道中小企業総合支援センター ホームページ

URL <https://www.hsc.or.jp/>



公益財団法人

北海道中小企業総合支援センター

助成金

北海道 中小企業新応援 ファンド事業

新たな事業化への取組を支援する助成金です!

- 1 地域資源活用型事業化実現事業(上限150万円)
地域資源を活用した新商品開発・販路開拓に!
- 2 創業促進支援事業(上限100万円)
新規創業時の事業展開に!
- 3 製品開発チャレンジ支援事業(上限50万円)
製品開発に向けた事前検証に!

北海道中小企業新応援ファンド事業

1 地域資源活用型事業化実現事業

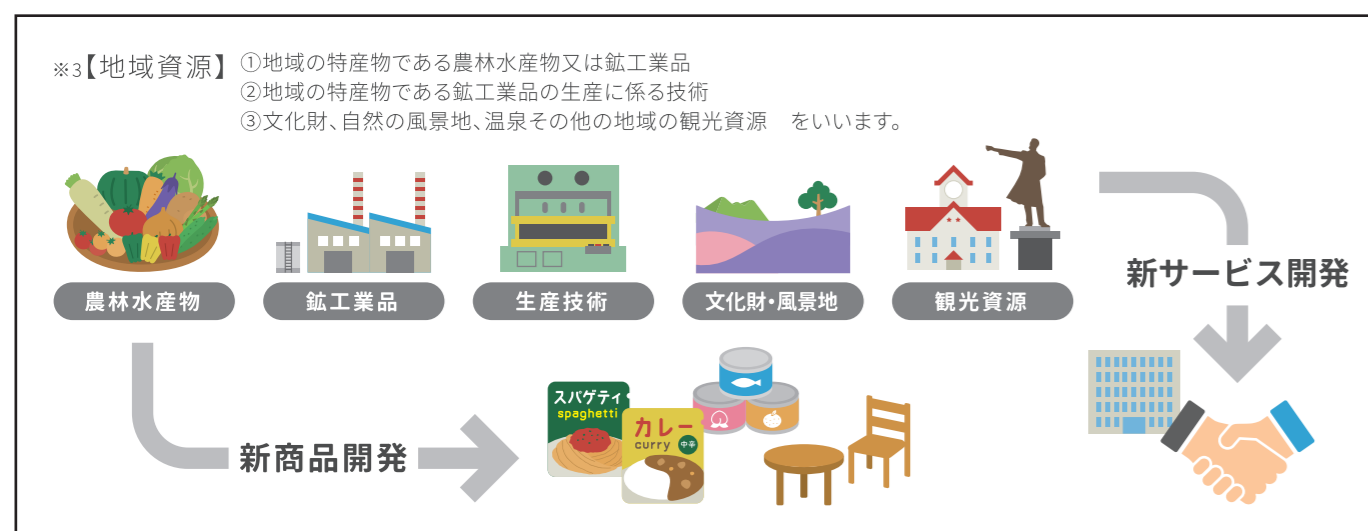
地域資源^{※3}を活用した新商品開発・販路開拓に

対象者	助成内容	対象経費
①道内の中小企業者等 ^{※1} または ②農商工連携事業計画認定事業者 ^{※2} (計画期間内の事業者に限る)	上限 150万円 補助率 1/2 以内	試作費(原材料費、外注費、機械装置等の借料)、デザイン開発費、プログラム開発費、展示会出展・その他関連費用、広報費 等

※1「道内の中小企業者等」とは、次の①または②のいずれかに該当し、道内に主たる事業所を有するものをいいます。

- ①独立行政法人中小企業基盤整備機構法第2条第1項(第1号から第5号に限る)に規定する中小企業者。
 なお、農林漁業および金融・保険業の業種に属する中小企業者を除く。
- ②中小企業団体の組織に関する法律第3条第1項に規定する中小企業団体。

※2「農商工等連携事業計画認定事業者」とは、農商工等連携事業計画について国から認定を受けている事業者(計画期間内の事業者に限る)をいいます。



地域資源活用型事業化実現事業

商品開発

北海道発の由栗いもを使って、自信作が出来上がりました。

活用事例

株式会社しらおい菓子工房まいこ(白老町)
 ～道産ブランドさつまいもを使ったスイーツの開発・販路拡大～

由仁町・栗山町の新ブランド「由栗いも」。土の中でゆっくり育ち、甘味・食感に優れたさつまいもを使用した、新たなスイートポテトの開発を行いました。本事業では、商品の試作、パッケージデザインの外注、展示会出展を行いました。従来の道外産さつまいも比べ、水分量が多い由栗いもの製品化には苦戦しましたが、展示会等で大変好評の商品が出来上がりました。初年度は、確保していた原料では対応出来ないほど多くの引き合いを頂きました。

【補助金を利用した感想】

助成金を利用することで納得がいくまで試作を重ねることができ、由栗いものポテンシャルを最大限に発揮した商品に仕上げることができました。作成したパッケージデザインも大変好評で、今後の展開が楽しみです。



1 道内の地域資源を活用した新商品・新サービスの開発から販路開拓までの事業化実現に向けた一連の取組を支援します。

2 道内に主たる事業所を設けて新規に事業を開始する取組を支援します。

3 本格開発着手前の事業構想の実現に向けた事前検証・検査・分析等の取組を支援します。

2 創業促進支援事業

新規創業時の事業展開に

対象者	助成内容	対象経費
①道内で1年以内に新規に事業を開始する予定の方 または ②前年度以降に創業した道内の中小企業者等 ^{※1}	上限 100万円 補助率 1/2 以内	試作費(原材料費、外注費)、デザイン開発費、プログラム開発費、事務所等改装費、展示会出展・その他関連費用、広報費 等

創業促進支援事業

創業

助成事業の利用で責任感が増し、バックアップが支えになりました。

活用事例

YOURFARM合同会社(長沼町)
 ～三刀流! 農家アスリートの新たな挑戦!!～

代表者は、夏は3代続く農家の4代目、冬はスノーボードクロス日本代表の桃野慎也氏。かねてから、アスリートとして体力強化のために常用している「プロテイン」に着目しており、自身の大豆を使った「ソイプロテイン」の商品化を目指して2022年4月に法人設立。経営者としても歩み始めました。

本事業では、パッケージデザインの開発、成分検査、ホームページ制作を行い、商品開発および広告宣伝強化を効果的に進めることができました。

【補助金を利用した感想】

資金面での負担軽減はもちろん、本事業を活用する事で精神的に安心感が生まれ、背中を押してもらえました。また、助成金を利用して事業を進めたことで責任感が増し、事業を進める上でとてもプラスになっています。



創業促進支援事業

気軽に相談に乗ってもらえたので、大変助かりました。

創業

活用事例

鈴木商店(帯広市)
 ～百貨店がなくなる地域のために
 お届けメインのワインショップ開業～

勤務先の百貨店が閉店するのを機に、これまでに培った知識と経験、ソムリエの資格を活かして、ワインショップの開業を決意しました。本事業を活用して、店内の内装工事、DM用のチラシデザインやホームページ制作を行い、落ち着いた雰囲気のお店を2023年3月にオープンしました。ホームページとSNSを連携させた店舗情報を発信していきますので、地域の皆さまに知ってもらえると嬉しいです。

【補助金を利用した感想】

創業資金の負担が軽減したので、非常に助かっています。また、担当者にも親身になって対応頂き、気軽に相談を行うことができました。今後は新サービスの展開を計画しているため、積極的に支援制度を活用していきたいです。

製品開発に向けた事前検証に

3 製品開発チャレンジ支援事業

対象者	助成内容	対象経費
道内の中小企業者等 ^{※1}	上限 50万円 補助率 1/2 以内	試作費(原材料費、外注費)、試験依頼費、共同研究費 等

製品開発チャレンジ支援事業

事前検証

無理だと思っていた商品開発にチャレンジできて良かったです。

活用事例

有限会社ユウアイ(遠軽町)
 ～韓国式かき氷専用シロップ「Color Snow」の開発～

韓国式かき氷は、液体原料を冷却回転ドラムで巻き上げて、瞬時に薄膜氷を生成し、固定刃で氷を削り取る機構のかき氷機で作られます。韓国式かき氷機の輸入販売を行っている当社は、「思い描く形状の氷を削り出すことが難しい」とのユーザーの声に着目し、本事業を活用して製氷状態に影響を与える因子の探索を実施。その後、食品メーカーと共同で、安定して製氷でき、かつ、様々なフレーバーに対応できる専用シロップ(液体原料)の開発に取り組み、商品化を実現しました。

【補助金を利用した感想】

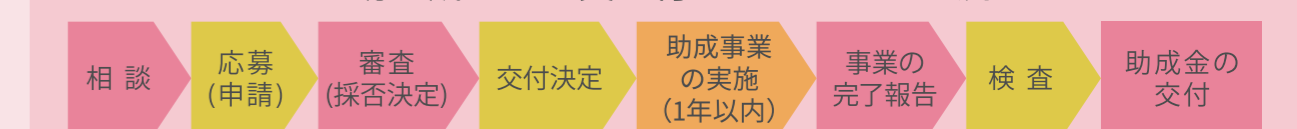
助成金は敷居が高いイメージがありましたが、相談してみたら、親身になって一緒に考えていただき、無理だと思っていた「シロップの開発」の背中を押してもらいました。本事業を利用することで、結果を出さなくてはいけないという気持ちになり、最後まで諦めずに取り組みことができました。



応募方法・留意事項

- 募集期間、対象経費の詳細などにつきましては、当センターのホームページでご確認または裏面「問い合わせ先」にご連絡ください。
- 募集要項・申請様式は、当センターのホームページにて公開しますので、よくお読みの上、応募してください。
- 助成対象経費は、助成金の交付決定日以降に発生し、助成事業の実施期間内に支払いを終えた経費に限ります。
- 同一年度において、助成事業の内容の全部または一部を対象として、国(独立行政法人を含む。)または道の助成金が交付される場合、助成の対象とすることはできません。

助成金交付までの流れ



助成事業の実施期間は、助成金の交付決定日から1年以内です。